中田町自治会　防災マップ

災害は自助・共助・公助
～この3つの行動が災害に対応する最も大切な基盤です～

もしものときは、慌てず避難することが大切です。広報車・防災無線・サイレンなどを通じて市が出す避難情報には、状況によって違いがあります。

情報の種類	発令時の状況	住民に求める行動
自主避難	・災害の危険が迫っていると自ら判断した場合の避難	・必要に応じて地域の公民館などに避難してください。 ・避難中の食事や生活必需品はご自分で用意してください。
避難準備情報	・避難するのに時間のかかる要配慮者は、避難を始めなければならない状況 ・人的被害が発生する可能性が高まっている状況	・高齢者、病人、障害者の人は、支援者とともに避難場所へ早めの避難を始めてください。 ・非常持ち出し袋を用意するなど、いつでも避難できるよう準備してください。
避難勧告	・通常の避難ができる人についても、避難を始めなければならない状況 ・人的被害が発生する可能性が高まっている状況	・避難場所へ速やかに避難を始めてください。
避難指示	・災害の前兆現象の発生や切迫した状況から人的被害が発生する可能性が非常に高まっている状況または人的被害が発生した状況	・避難中の人は確実に避難を完了してください。 ・いまだに避難していない人は、直ちに避難場所へ避難を始めてください。 ・避難の時間的な余裕がない場合は生命を守る最低限の行動をしてください。

◎避難情報など防災情報の入手先

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
  →よく聞き取れないときは　０１２０－４１９－００９
- エフエム諫早（周波数　７７．１ＭＨｚ）
- 諫早ケーブルテレビ（３ｓｕｎテレビ）テロップ
- 防災メール、防災ＦＡＸ（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ　・その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

◎避難や避難時の連絡方法について確認しよう！

家族

- 家族防災会議
  役割分担、避難場所、避難場所までの道順、家族との連絡方法などを家族全員で確認しましょう。
- 避難場所・道順の確認
  避難場所はどこか、道順はどうするかなどを確認しましょう。
  海辺などにいるときに、地震が起きた場合には、すぐに高いところに避難しましょう。

◎地域のことは地域で守ろう！

- 自主防災組織
  地域住民などで助け合う自主防災組織に参加し、地域とのコミュニケーションを深め、防災について意識を高めましょう。
- 防災訓練
  地域で行われる防災訓練には、積極的に参加しましょう。

大雨時、長田川沿線は水位の上昇に注意しましょう。

大雨時、崖地や高石積みの崩壊に注意しましょう。

放水路
大雨時、山水注意
放水路
地区別避難場所
中田町公民館
裏崖地　注意
防災行政無線
清水橋
高石垣　注意
水路　法面崩壊注意
裏崖地　注意
中田橋
一時避難場所
運動場
岩永組
正津井手
坂の下井手
大井手

凡　例

- 危険箇所（裏崖地、石垣など）
- 危険箇所（山からの水）
- 狭い道
- 広い道
- 一時避難所（地震時）
- 広域避難場所

長田地区避難場所

一時避難場所　（地震発生時）

- ○　長田いこいの広場
- ○　猿崎公園
- ○　長田小学校グラウンド　２３－９０１０
- ○　長田中学校グラウンド　２３－９０１４

広域避難場所

- ○　みのり会館　２３－９０７７
- ○　文武場　２３－９０７７

地区別避難場所

- ○　中田町公民館
- ○　長田中学校体育館（水害のぞく）２３－９０１４

平成28年3月作成